

精密検査(確認検査)における HTLV-1 抗体検査結果が 判定保留であった妊婦の方へ



先日、あなたから採血して調べた HTLV-1 抗体検査の精密検査（確認検査）の結果は、「判定保留」でした。

これは、あなたが「HTLV-1 に感染している可能性が高い」のか「HTLV-1 に感染している可能性が低い」のか、抗体検査では判断できなかったということになります。この場合は、PCR 法を行うことが望ましいでしょう（2016 年 4 月保険収載）。

この検査が「陰性」であれば母乳栄養を与えることができます。

ただし、この方法で検査を行っても HTLV-1 の感染の有無について 100%確実に判定できるわけではありません。この検査を希望する場合は主治医にご相談ください。

PCR 検査を希望されず、判定保留であった場合に HTLV-1 キャリアと同様の母子感染予防を講じたほうが良いのかどうか現時点では医学的な結論が出ていません。

HTLV-1 キャリアと同様な対応（感染しているものとして対応すること）を希望する場合は、その旨を主治医に伝えてください。

母子感染を予防するためには、授乳方法を工夫する必要があります。それぞれメリット、デメリットがありますので主治医にご相談ください。

